



北アルプス 鹿島槍東尾根

---

栗原

【日時】 2007年4月28日(土)～4月29日(日)

【メンバー】 栗原L・大田原

4/28 朝から雷雨。登山口のトイレ軒下でテントを張り、しばらく様子を見るが、小雨になったので出発する。しばらくすると雨も上がった。2-3日前にも降雪があったらしく、下からうっすらと雪が付いている。降雪後東尾根に取り付くのは私たちが最初のようなのだ。すぐに踝ラッセルとなるが、私が不調のため、以降大田原さん一人でラッセルとなる。

一ノ沢を過ぎる頃、再び降雪と雷になった。一ノ沢を過ぎた所の灌木の根元の穴を広げて、テントを張り、雷が止むまでしばし待機する。その間に2人パーティが通り過ぎ、隣には賑やかな8人パーティがイグルーを作っている模様。3時間ほど様子を見るが、雪も雷も収まったようなので、快適な天場を撤収し、二ノ沢まで前進を決めた。

しかし、中途半端に進んだところで、再び降雪と雷が始まった。先に進んだ2人パーティも途中の雪底下にテントを張っており、前進するか戻るか迷うが、とりあえず二ノ沢まで進み、整地にかかった。テントを立てたところで、私は(多分)眼鏡に、大田原さんは(多分)ビーコンに、火花(?)が散る。雷の放電だ。大慌てでテントに逃げ込み、身を低くして雷が去るのを待つ。なかなか雷がやまず、気が気じゃなかった。結局雷は暗くなり始める頃まで続き、降雪は夜半過ぎまで、強風は明け方まで続いた。

4/29 晴れ。昨日の様子から、2人パーティに先行してもらおうかと少し遅めの6時に出発した。が、2人パーティでなく8人パーティに先を越され、これじゃあ順番待ちになると大田原さんが後ろから猛攻、追いついたところで先を譲られる。そこからずっと大田原さんが膝ラッセルで先行した。力強い。私は相変わらず不調で、後からのろのろ付いていくのみ。

第1岩峰はルンゼにしっかり雪が付いており、これなら大丈夫だろうと大田原さんトップでダブルアックスでノーザイルで登る。雪自体は締まっており快適だが、思ったより長かったので、ザイルをつけたほうが良かったかも知れない。そこを抜けると幾分緩やかになるが、逆にラッセルとなり、またもや大田原さんがトップでステップを切っていく。

第2岩峰の1ピッチ目はザイルをつけて大田原さんがリードする。岩の上に乗っか

った悪い雪を騙し騙しステップを切ってザイルを延ばし、チムニーの下でピッチを切った。私はフォローだったが、ここがこのコースで一番悪かった。大田原さん、よくリードしたなあと感心。続く2ピッチ目は私がリードするが、単独行者がすぐ後ろに迫っていたため、先を譲る。が、核心のチムニーですごくためらっていたので、結局私が先に行かせてもらった。チムニーを抜けて少し登ったところでビレー解除。ザイルをフィックスして単独行者を登らせた後、大田原さんが続く。ここでザイルをしまい、単独行者がつけたラッセル跡を大田原さんが猛攻、途中でラッセルを奪う(?)が、私がまったく付いていけず、結局その後はその単独行者が鹿島槍南峰まで先行した。ずっと一人でラッセルしていた大田原さんにとってはトップで鹿島槍に行けなかったのは少々残念でもあろうが、山頂までもそれなりに距離があったので、単独行者のラッセルはちょっと助かった。

鹿島槍北峰・南峰では大展望が待っていたが、少々風が強いため、早々に下山する。冷池を過ぎる頃から、風が急速に強くなり、爺ヶ岳に登る頃には強風にあおられるほど。爺ヶ岳南尾根に入って少し風も収まったが、今度は疲れで(私のみ)よれよれしながら長い下りと最後の難関の車道歩きを突破して、無事扇沢発17:55のバスに間に合ったのだった。



第2岩峰



鹿島槍山頂にて

【行程】 4/28 大谷原(7:15)～取り付き(7:35)～一ノ沢の頭(10:35/50)～停滞(11:15/14:45)～二ノ沢の頭(15:25)

4/29 二ノ沢の頭(5:55)～第一岩峰基部(7:10)～第二岩峰基部(8:15/35)～第二岩峰上(9:40)～鹿島槍北峰(10:35/50)～南峰(11:25/35)～布引山(12:00)～冷池山荘(12:50/13:30)～爺ヶ岳中峰(14:50)～登山口(17:25)

【地図】 神城